

2019「食と健康の総合共同調査」説明会

健康市場の新戦略

～健康行動・健康消費の「なぜ？」を解明する～

2019年1月31日（木） 於：フクラシア東京ステーション
2019年2月 5日（火） 於：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

2015年から4年をかけて、異業種の企業22社が参画し、「健康」に関する共同研究活動を行ってきた「健康行動」研究会。2019年度より新たな展開をしていくに先立ち、研究会の独自性と新たなプロジェクトの企画をご説明する説明会を開催いたしました。「食と健康の総合共同調査」にご関心のある企業様にのみご参加いただく小規模説明会ではありましたが、東京会場・大阪会場それぞれ満員のご参加をいただき、大変盛況な会となりました。

当日の説明会では、

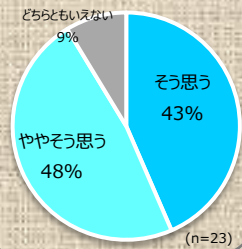
- ・メカニズムモデルを作ることで市場を予測、コントロールする
- ・属性よりも行動を説明できる心理的要因・環境要因の考え方
- ・本人に聞いてもわからない「見えない動機」を解明する方法

など、研究会の独自のアプローチをご紹介し、それによって明らかになった健康に関する消費者の心理を、最新の分析データでご説明いたしました。参加者からは、市場理解に対する新たな視点が得られたと、大変ご好評をいただきました。

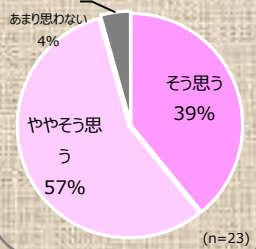


健康行動研究会では、2019年度、健康問題における「食」の重要性に焦点化し、これまでの「健康」の知見を活かしつつ新たに「食」の項目を加えた調査を行います。特に食関連の企業の皆様には、よりいっそう各社の施策に活用していただきやすい調査になっています。説明会のご参加者には、これまでにない市場理解と施策の検討ができるようになって感じていただけたと思います。当日は新規調査に関するご質問も多々いただき、ご関心の高さがうかがえました。今後、お伝えしきれなかった詳細をご説明していく予定です。改めて、ご参加の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、研究会の考え方を事業にご活用いただければ誠に幸いです。

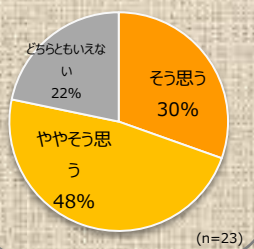
セミナー（説明会）に参加してよかった



市場把握の考え方や調査設計について、参考になった



研究会の調査報告レポート（内容）についてもっと知りたい



参加者の声から、一部をご紹介します。

※説明会アンケート自由記述より（一部抜粋）

- モデルの確立に興味を持ちました。
- 本人に聞くという調査にも限りがあるということを実感した。
- モデルなど心理学的枠組みからの視点でどう健康行動にアプローチするのか、どう物事を考えるのか考えることができ、勉強になりました。
- 2019年の食と健康はとても気になります。データ楽しみにしております。



「健康行動」研究会の研究成果や2019年度の「食と健康の総合共同調査」にご興味を持ってくださった方には、より詳しいご案内を差し上げております。お気軽にお問い合わせください（資料請求は無料です）。

※当日のプログラムや配布資料のお問い合わせはこちらのページをご覧ください。
http://www.aspect-net.co.jp/services/servi04_5/ib_seminar201702.html

「健康行動」研究会事務局 (株)応用社会心理学研究所 担当：田中

MAIL: kenko@aspect-net.co.jp
TEL: 06-6941-2171